

YAMAHA USB-MIDI Driver V2.1.5 for Windows XP/2000

■アップデートにおける主な変更点

【2.1.4→2.1.5】

- UW500 をご使用時、USB-MIDI ドライバーと ASIO ドライバーの両方がインストールされている場合に、コンピューターをシャットダウンできないことがある不具合を修正しました。
- コントロールパネルの[Send All Note OFF]ボタンをクリック時、全チャンネルにノートオフを送信するようにしました。

【2.1.3→2.1.4】

- インテルのハイパースレッディングテクノロジーを有効にして、DME Designer と使用している場合に、通信が途切れてしまう不具合を修正しました。
- MIDI データ送信中にデバイスを抜くと、コンピューターがドライバーを認識しなくなる不具合を修正しました。
- 一部のアプリ（楽譜作成ソフト Sibelius シリーズ）で正常に送受信できない不具合を修正しました

【2.1.1→2.1.3】

- インテルのハイパースレッディングテクノロジーを有効にして、複数の USB-MIDI デバイスを接続した場合に、ドライバーのパッチベイ画面または MIDI アプリケーションを立ち上げると、それまでに受信していた MIDI データがまとめて出力される不具合を修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

【2.1.0→2.1.1】

- インテルのハイパースレッディングテクノロジーを有効にして、複数の USB-MIDI デバイスを接続した場合に、1 つの MIDI データが 2 重になって出力される不具合を修正しました。

【2.0.9→2.1.0】

- システムエクスクルーシブメッセージの処理を改善しました。
- インテルのハイパースレッディングテクノロジーを有効にして、長時間使用した場合に起こる不具合を修正しました。
- Windows2000 を搭載した一部のコンピューターで起こる不具合を修正しました。

【2.0.8→2.0.9】

- MIDI アプリケーションソフトの起動、インターネットエクスプローラーの動作に関連する一部不具合を修正しました。

- 一部の MIDI アプリケーションは、終了時に使用していたドライバーをクローズしませんが、そのアプリケーションを終了後もドライバーを使用できるように修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

【2.0.7→2.0.8】

- 東芝製ノートパソコン「Dynabook SS」の特定機種と USB-MIDI デバイスを直接接続してご使用の場合に起こる不具合を修正しました。
- MIDI 入力ポートを複数開いた場合、任意の入力ポートにデータを送信しても全ての入力ポートに同じデータが送られる不具合を修正しました。

【1.61→2.0.7】

- SongFiler、CardFiler で通信に失敗する不具合を修正しました。
- 複数のアプリケーションで MIDI 入力ポートを選べない不具合を修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

【1.50→1.61】

- 「サウンドとマルチメディア」のプロパティにて、任意の MIDI 出力ポートが選べない不具合を修正しました。
- 一度パッチ画面を開かないとパッチの設定情報を読み込まない不具合を修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

【1.20→1.50】

- Windows XP に対応しました。
- 一部不具合を修正しました。

【1.01→1.20】

- UW500 に対応しました。
- 一部不具合を修正しました。

【1.00→1.01】

- マルチプロセッサコンピュータ（CPU が複数あるコンピュータ）で Windows 2000 を使用している場合の一部不具合を修正しました。

本文に掲載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

© 2005 Yamaha Corporation